

**大学発新産業創出プログラム 社会還元加速プログラム(SCORE) チーム推進型
事後評価結果**

課題番号	STSC19001
研究開発課題名:	多種フレキシブルセンサアレイシステムの事業化検証
研究担当者(所属・役職・氏名)	大阪府立大学 大学院工学研究科 教授 竹井 邦晴

1. SCORE での活動目的

本研究課題では、フレキシブル温度・圧力・歪み・心電図センサを無線・信号処理回路と実装したシステムの開発と、それを用いた実証試験及び事業化検証を行うことを目的とする。具体的には貼付型ウェアラブル熱中症予防センサパッチのプロトタイプを試作し、それらデバイスの応用展開に向けたビジネスモデルを検証する。また顧客ヒアリングを通して、ビジネスモデルの現実化・高度化を図る。これら取り組みで、開発してきたフレキシブルセンサの実用化への可能性を探り、その技術による起業の可能性の見極めを実施する。

2. 総合所見

当初設定した目標である顧客ヒアリングとプロトタイプ作成を達成し、事業化に向けて着実な進捗が認められる。特に、当初想定していた複数のソリューションを絞り込みながらヒアリングを行い、ビジネスモデルを構築した点、事業化に向けて精力的に活動した点を評価する。競合が多い分野なので、スピード感を持って「熱中症の早期発見」に対する POC を確立し、魅力ある技術に進化させる体制を整えることを期待する。

以上